

# [江別市] 施策達成度報告書

**政策** 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

**施策** 03 子育て環境の充実

主管課 子育て支援室子ども家庭課

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年少人口(0～14歳まで)が、人口構成比で2.2%(前年度から0.2ポイント低下)となり、少子化傾向は続いている。</li> <li>・子育て世帯が核家族化の進展により、近隣や地域からの子育て支援を必要としてきている。</li> <li>・子育て世代の就労時間の多様化等から延長保育や緊急な子ども預かりなど、保育に求められるニーズも複雑化・多様化している。</li> <li>・国では、幼保一元化等の新たな次世代育成支援の仕組みとして「子ども・子育て新システム」構築の検討が進められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関して、不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な原因で養育支援が必要な家庭に対する養育支援体制の構築。</li> <li>・子育て世帯の共働きなどの就労形態による、子どもの延長保育、病児・病後児保育を含めた緊急な子どもの預かりなどの多様な子育てニーズへの対応に向けた、子育て支援事業の展開。</li> <li>・「子ども・子育て新システム」など、国の施策の動向を見極めながら、平成22年度に策定した「江別市立保育園の整備と運営等に関する計画」の見直し等を含め検討していく必要がある。</li> </ul>

## 施策の目的

子育て環境を充実させることで、全ての子どもたちが健やかに育ち、また就業と子育ての両立ができ、安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

乳幼児、児童、保護者、地域住民

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・健やかに子どもが育てられる
- ・就業と子育てが両立できる

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
子育てしやすいと思う保護者の割合	%	57.4	64.0	-	61.2	↗
次世代育成支援サービスの延べ利用者数	人	59,031	58,366	60,615	64,297	65,000

## 施策の達成状況 (23年度)

子育て環境に関する意識は、子育て世帯を取り巻く雇用・経済環境などの社会的要因と密接な関連があり、少子化傾向の進行に対し効果的な歯止めをかけられない状況にある。平成23年度における施策の状況は、子育て支援センター2施設の開設のほか、放課後児童会の補助対象者拡大(小3から小6へ)などにより、次世代育成支援サービスの利用者数が増加しているが、今後も多様化するニーズへの対応が求められている。

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	4,735,686	4,731,042	4,624,204
事業費(千円)	4,094,190	4,089,836	3,969,561
人件費(千円)	641,496	641,206	654,643

## 01 地域子育て支援の充実

### 基本事業の目的

身近なところで子育てに係る様々なサービスの情報や相談、支援を受けることができ、安心して子育てができるようにします。また、支援を必要とする子どもや家庭に対して、地域を中心としたネットワークを構築することで孤立を防ぎ、支援機関の連携を図ります。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

乳幼児、児童、保護者、地域住民、子育て関係機関

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・子育てに係る様々なサービスの情報や相談、支援を受けることができ、安心して子育てができる。
- ・支援を必要とする子どもや家庭に対して、孤立を防ぎ、支援機関の連携を図る。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
地域子育てサービスの利用者数	人	16,400	14,871	15,849	17,569	17,000
家庭児童対策地域協議会参加延人数	人	202	199	155	185	300

### 基本事業の達成状況 (23年度)

地域子育てサービスの利用者数は、平成23年度に新たに子育て支援センター2施設が開設されたことなどから、昨年度に比べ1,000人以上の利用者増となっており、今後も各子育て支援センターとの連携を強化するとともに利用者に向けた情報の提供や多様化する子育てニーズの把握に努めながら事業を企画・推進していくことにより更なる効果が期待できる。  
家庭児童対策地域協議会参加延人数は、昨年度に比べ、会議開催回数及び参加延べ人数も増加しており、今後は関係機関の連携強化と地域のネットワーク構築に向け家庭児童対策地域協議会の活発化を図りたい。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	366,935	253,519	1,738,349
事業費(千円)	314,303	197,498	1,667,292
人件費(千円)	52,632	56,021	71,057

## 02 未就学期児童への支援

### 基本事業の目的

子どもたちが、幼児教育や保育等を受ける機会の充実を図ります。また、サービスの多様化、充実を図ることで安心して子どもを預け働くことができます。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

乳幼児、保護者、幼稚園、保育所等

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・幼児教育や保育等を受ける機会の充実とサービスの多様化、充実を図ることで子どもを預け、働くことができる。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
幼児教育・保育サービス利用率	%	53.5	54.6	55.7	58.5	55.0
保育所待機児童数	人	7	9	10	4	0

### 基本事業の達成状況 (23年度)

幼児教育・保育サービスの利用率は、民間保育所(わかば保育園)の改築及び認定こども園(まんまる保育園)新築により入所定員が増加したこともあり、昨年度に比べ増加となり、今年度は58.5%と、平成22年度以降後期目標値である55.0%を上回る状況が続いている。このような状況から、待機児童数については昨年度に比べ減少することとなった。ただ、少子化が進展する中においても、共働き世帯が増加する傾向が続いており、引き続き待機児童の解消に向けた取組とともに国の動向を見極めながら「江別市立保育園の整備と運営等に関する計画」に基づき施設整備の取り組みを進めていく必要がある。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,808,666	1,687,522	1,711,828
事業費(千円)	1,274,933	1,156,040	1,181,574
人件費(千円)	533,733	531,482	530,254

基本事業の目的

地域の中でいろいろな人たちとの交流や支援のもと、児童が安全に過ごすことができる育成環境を整えます。

対象 (誰を対象とした指標か)

児童、保護者等

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・児童が安全に過ごすことができる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
放課後児童会・児童クラブ待機者数	人	23	0	0	0	0
児童センター利用者数	人	68,980	57,971	49,875	47,460	70,000

基本事業の達成状況 (23年度)

放課後児童会・児童クラブ待機者数については、前年度同様、定員を上回る入会希望があっても可能な限り受け入れ、年度当初からの入会を認めることで待機者は発生していない。  
児童センター利用者数については、今年度も2,400人ほどの減少であるが減少率は下がった。市民アンケート結果では6割超の方が「子育てしやすいまち」との回答をいただく一方、放課後の子ども達の居場所づくりを望む声もあることから、今後とも各センターごとに放課後の児童の居場所づくりに努め、利用者数増加の取り組みを進める。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	136,322	138,271	142,897
事業費(千円)	126,650	129,041	133,590
人件費(千円)	9,672	9,230	9,307